

E メール差出人アカウントの設定

Manual No - MAL062

©Copyright 2017
株式会社フェアディンカム

本解説書は、ウィルコムからメール送信する際のメール差出人となるメールアカウントの設定方法について解説しています。

(目次)

1. メール差出人の設定概要と差出人の考慮点
2. メール差出人を必ず決まった値にする設定
3. メール差出人をスプールファイルの作成者ユーザープロフィール毎に設定
4. ディストリビューションウィザードのセクション毎にメール差出人の設定

改訂履歴

日にち	改訂内容
2021/1/24	MS365 先進認証を使用した場合のユーザー名（名称）の注意の追記

不明点等がございましたら下記連絡先までお気軽にお問い合わせください。

株式会社フェアディンカム

(WilComm サポートデスク)

メール wilcomm@fairdinkum.co.jp

電話 03-5809-3727

1.メール差出人の設定概要と差出人の考慮点

WilComm から送信されるメールの差出人アカウントの設定には3つの方法があります。

«方法1»

WilComm からのメール送信で使用するメール差出人を必ず決まった値にする方法

«方法2»

スプールファイルの作成者ユーザープロフィール毎にメールの差出人の設定を行う方法

«方法3»

ディストリビューションウィザード毎にメールの差出人の設定を行う方法

注意：上記のいずれの設定を行っても、必ず WilComm を停止／開始を実施してください。

メールの差出人を決める際の考慮点

WilComm のメール送信では、メールサーバー（SMTP サーバー）にメールデータの出力が正常に行われると、WilComm 上では「メール送信済み」になります。

メール送信後に、戻されるリターンメールについては、WilComm のメール送信処理では検知する事ができません。

リターンメールはメール送信で使用された差出人のメールアカウントに戻されます。

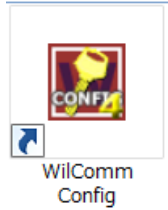
このため、リターンメールの対応につきまして、予め検討し考慮する必要があります。

2.メール差出人を必ず決まった値にする設定

この方法は、WilCommからのメール送信で使用するメール差出人を必ず決まった値にして、メール送信する場合に使用します。

《設定方法》

①デスクトップにあるフォルダー「WilComm」中にある、「WilComm Config」を実行します。



② [表示] / [Eメールユーザー] を実行します。

ユーザー ID	氏名	送受信タイプ	POP ユーザー名	メールボックス名
AXES	AXES	Send Mails Only	axes03	axes03
DEMO	WilCommデモユーザー	Send and Receive Mails	wilcomm.test@gmail.com	wildemo
GOHMAIL	管理者	Send Mails Only	GOHMAIL	axes
HIRO	Hiroshi Muneto 2	Send Mails Only	HIRO	muneto2
ITOH	WilCommデモ	Send Mails Only	ITOH	itoh
KOIDE	WilCommデモ	Send Mails Only	KOIDE	koide
MAGAZINE	MAGAZINE	Send Mails Only	MAGAZINE	magazine
NABA	Nabatame	Send Mails Only	naba	naba
QSECOFR	WilComm_Team	Send Mails Only	wildemo@fairdinkum.xsrv.jp	Wildemo
TAK	Takatsuka	Send Mails Only	wildemo2	tak
TANA	WilCommデモ	Send Mails Only	TANA	hidekazu_tanaka
UNITEC	TEST	Send Mails Only	UNITEC	wildemo

③表示されたデータをダブルクリックし、「ウィルコム Eメールユーザーレコードの編集」画面を表示し、設定を行います。設定後に [OK] ボタンを押し設定を確定します。

[ユーザー ID] …差出人を決まった値にする場合、この設定項目は使用されません。
何か適当な値を指定してください。(デフォルト値のままでも結構です)

[氏名] …差出人の名称になります。

注意：MS365 の先進認証を使用した場合、ユーザー名（名称）は、MS365 でメールアカウントに設定した名前が使用されます。

[送受信タイプ] …メール受信も同時に行うのであれば、<送信と受信> をチェックします。
メールの受信を行わない場合は、<送信のみ> をチェックします。
メールの受信の設定については、別マニュアル「WilMail 受信機能 For Wilcomm Ver.8.xx」を参照してください。

[メールボックス名] …差出人のメールアカウントになります。

[送信メールに添付するファイルを取り出すディレクトリ]

・・・デフォルト値の値にしてください。この値はオプション機能「CSVコンバージョンツール機能」を使用する場合に使用されます。

[ウィルコム Eメールメッセージ・・・] ・・・このチェックボックスには必ずチェックを付けてください。

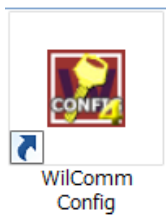
または、チェックが付いている事を確認してください。

3.メール差出人をスプールファイルの作成者ユーザープロフィール毎に設定

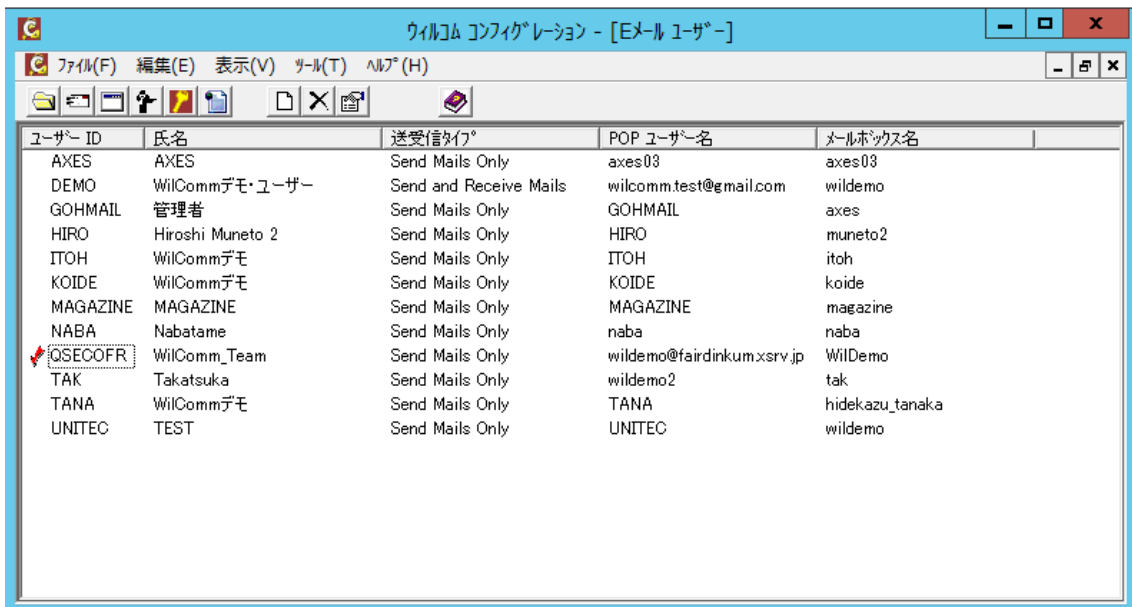
この方法は、WilCommからのメール送信で使用するメール差出人を、スプールファイルの作成者ユーザープロフィール毎にメールの差出人を設定し、メール送信する場合に使用します。

《設定方法》

- ① デスクトップにあるフォルダー「WilComm」中にある、「WilComm Config」を実行します。



- ② [表示] / [Eメールユーザー] を実行します。



- ③ [編集] / [新規作成] を実行し、設定を行います。設定後に [OK] ボタンを押し設定を確定します。

新規ウィルコム Eメール ユーザーの追加

ユーザー ID:
ウィルコム Eメール ユーザーのユーザー IDは、重複して使用することはできません

氏名:

送受信タイプ:
 送信のみ 受信のみ 送信と受信

Eメール受信

POP ユーザー名:

POP パスワード:

POP パスワード:

デコードした添付ファイルを保管するディレクトリ:
 ...

Eメール送信

メールボックス名:
メールボックス名は、Eメール アドレスの@マークの左側部分

送信メールに添付するファイルを取り出すディレクトリ:
 ...

ウィルコム Eメール メッセージ送信用にEメール ユーザーが設定されていない場合、このEメール ユーザーを送信者として使用する。

OK(O) キャンセル(C)

[ユーザー ID] ...スプールファイルの作成者ユーザープロフィールを指定します。

[氏名] ...差出人の名称になります。

注意 : MS365 の先進認証を使用した場合、ユーザー名 (名称) は、MS365 でメールアカウントに設定した名前が使用されます。

[送受信タイプ] ...メール受信も同時に行うのであれば、<送信と受信> をチェックします。

メールの受信を行わない場合は、<送信のみ> をチェックします。

メールの受信の設定については、別マニュアル「WilMail 受信機能 For Wilcomm Ver.8.xx」を参照してください。

[メールボックス名] ...上記のユーザーID を入力すると、自動でユーザーID と同じ値がセットされます。

この値を使用する差出人のメールアカウントに修正します。

[送信メールに添付するファイルを取り出すディレクトリ]

・・・デフォルト値の値にしてください。この値はオプション機能「CSVコンバージョン」ツール機能を使用する場合に使用されます。

[ウィルコム Eメールメッセージ・・・]・・・このチェックボックスは基本的にはチェックを外します。

このチェックボックスにチェックを付けるケースとしては、スプールファイルの作成者ユーザープロフィールが、WilComm Config の Eメールユーザー（ユーザーID）に該当データが存在しない時に、このチェックが付いた設定のメールボックス名を差出人のアカウントにします。

- ④ デスクトップにあるフォルダー「WilComm」中にある、「Distribution Wizard」を実行します。



- ⑤ [ファイル] / [開く] またはアイコンをクリックします。



- ⑥ 一覧から Eメール送信を使用しているセクション（または全セクション）のセクションコードを右クリックし、メニュー中の「ホストで指定されたアドレスを無視」のチェックを外します。

株式会社フェアディンカム

4.ディストリビューションウィザードのセクション毎にメール差出人の設定

※この方法を使用した場合、この設定情報が最優先で使用されます。

この方法は、ディストリビューションウィザードのセクション毎にメール差出人を変えて、メール送信する場合に使用します。

《設定方法》

- ① デスクトップにあるフォルダー「WilComm」中にある、「Distribution Wizard」を実行します。



- ② [ファイル] / [開く] またはアイコンをクリックします。



- ③ 一覧から該当セクション（Eメール送信の設定セクション）をダブルクリックし、〈サービスの定義〉画面を表示します。

該当セクション（例では「TEST」）をダブルクリックします。

右から2番目（サービス設定）のアイコンをクリックします。

④ 「アドレス」タブをクリックします。

サービスの定義

このセッションで使用するサービスを選択して下さい。

サービスの種類: Eメール Render: Filler

優先順位: 100 言語フィルター: <<Default Language>>

機密保護 | ファイル名 | 添付ファイル | Excel / CSV

全般 | メール メッセージ | **アドレス** | CC_BCC | フォーム | PDF

宛先

ホストで指定されたアドレス 定位置アドレス [詳細 ...]

浮動アドレス [詳細 ...] 検索アドレス [詳細 ...]

送信者

名前: Default

メールボックス: Default

ドメイン: Default

Reply To: Default

画面上の送信者の箇所がメール差出人の情報となります。

[名前] ……差出人の名称

－設定値

- Default → ディストリビューションウィザード毎の設定は使用しない。
- Constant → 固定値を設定します。この設定を選択すると画面に入力フィールドが表示されますので、値を設定します。
- Fixed → スプールファイルの印字データから値を取得する設定になります。この設定を選択すると画面に [Detail] ボタンが表示されます。このボタンを押して、スプールに印字されているデータ値の情報を指定します。

注意：MS365の先進認証を使用した場合、ユーザー名（名称）は、MS365でメールアカウントに設定した名前が使用されます。

[メールボックス] …差出人のメールアカウント（メールアドレスの@マークの左側）

– 設定値

- Default → ディストリビューションウィザード毎の設定は使用しない。
- Constant → 固定値を設定します。この設定を選択すると画面に入力フィールドが表示されますので、値を設定します。
- Fixed → スプールファイルの印字データから値を取得する設定になります。この設定を選択すると画面に [Detail] ボタンが表示されます。このボタンを押して、スプールに印字されているデータ値の情報を指定します。

[ドメイン] …差出人のメールアカウントを使用するドメイン名（メールアドレスの@マークの右側）

– 設定値

- Default → ディストリビューションウィザード毎の設定は使用しない。
- Constant → 固定値を設定します。この設定を選択すると画面に入力フィールドが表示されますので、値を設定します。
- Fixed → スプールファイルの印字データから値を取得する設定になります。この設定を選択すると画面に [Detail] ボタンが表示されます。このボタンを押して、スプールに印字されているデータ値の情報を指定します。

[Reply To] …返信先メールアドレス

– 設定値

- Default → ディストリビューションウィザード毎の設定は使用しない。
- Constant → 固定値を設定します。この設定を選択すると画面に入力フィールドが表示されますので、値を設定します。
- Fixed → スプールファイルの印字データから値を取得する設定になります。この設定を選択すると画面に [Detail] ボタンが表示されます。このボタンを押して、スプールに印字されているデータ値の情報を指定します。

注意 1 : [名前]、[メールボックス]、[ドメイン]、[Reply To] のいずれかを「Default」以外に設定した場合は、残りの設定項目全てを「Constant」または「Fixed」に設定する必要があります。

「Default」と「Constant」・「Fixed」を混在して使用する事はできません。

注意 2 : [メールボックス]、[ドメイン] を指定された場合、メールサーバーによっては指定データを受け付けない可能性もありますので、メールサーバーが受け付けるデータ値を指定してください。